

図書館だより

4月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

○印 休館日・祝日(29日)
月曜・月曜・月曜・月曜・月曜・月曜・月曜
月末館内整理日(30日)

新年度が始まりました。図書館では、この時期貸出券の更新をしています。色も新色・ピカピカの券で、またさらなる図書との出会いをお楽しみください。

今月の新刊図書案内

一般図書

電脳文化と漢字のゆくえ 平凡社
なぜ私は「私」なのか ウィニフレッド・ギヤラハ
図説イギリス物語 クリストファー・ヒバート
ハプスブルク家史話 江村 洋
鎌倉花散歩 原田 寛
20世紀は人間を幸福にしたか 柳田邦男
10年デフレ 斎藤精一郎
仮想報道 歌田明弘
これが介護保険だ！ 五十嵐芳樹
親も知らない子どもの正体 尾上進勇
利己的なサル、
他人を思いやるサル
フランス・ドゥ・ヴァール

もうだまされない食品表示

垣田達哉

リフォームに成功する本

ニユーハウス出版

豆腐百珍 福田浩ほか

農家の機械整備便利帳 青木敬典

ずっとドラマを作ってきた 堀川とんこう

趣味の写真入門 中谷吉隆

天才伝説横山やすし 小林信彦

長野オリンピック騒動記 相川俊英

話力をつけるコツ 永崎一則

子どもの本の森へ 河合隼雄

すいかの匂い 江国香織

喜知次 乙川優三郎

ループ 鈴木光司

敵 簡井康隆

静かな木 藤沢周平

夫婦茶碗 町田 康

月光の東 宮本 輝

血と骨 梁 石日

異界飛行 村田喜代子

男というもの 渡辺淳一

母に極端をあてるとき 舛添要一

アメリカン・タブロイド上・下 ジェイムズ・エルロイ

敵対水域 ピーター・ハクソーゼンほか

カービン銃の妖精 ダニエル・ペナック

外二〇九冊

児童図書

暖かい地球と寒い地球

カケスの森

あしたが見える

新しい森 2050年西新宿物語

夜行バスにのって

ともだちや

フルールはどこ？ 1・2

チビモグちゃんのおつきさま

外九九冊

親子の会話を大切にしていますか？

心の健康シリーズ(60)



神戸の中学生の殺人事件以来、中・高校生の刃傷事件が多発しており、多くの関係者が防止のための対策に苦慮しています。

あの手戸の殺害事件の後、識者の声として次のような意見を新聞で見ました。

○今の子どもは心は分からない

○自分があるようで自分がない

○子どものことを一番知らないのは親かもしれない……

一月三十一日、都留市小中学校PTA連合会の研究集会が開催され、家庭・地域・学校教育・PTA活動など広範囲にわたってグループでの話し合いがもたれ、その後、グループ発表がなされました。たくさんの方の発表があり、その中で親子のコミュニケーション不足を多くのグループが出していました。

やはり、この地域においても親子の会話不足を痛感し、会話を望んでいることがわかりました。

今、どこ家庭でも子育てや、子どもの教育については、母親まかせが多いのではないのでしょうか。

その母親も最近では、お勤めや外での活動が忙しく、子どもとゆっくり話す時間もなくなっています。だから子どもとコミュニケーション

ションを認識しても、現実にはなかなか話し合うことができないのです。

たまに、テレビを親子で見ながらこれ口を出しても、これはコミュニケーションではありません。

親子のコミュニケーションで最も求められていることは、お互いの気持ちを汲み取り、心を通わせ合うことではないのでしょうか。

親子が言葉を使って会話ができるのは三歳ころからで「おしゃべり時代」と言われています。

この時期から親はいい聞き役になって、話をしっかり聞いてやり、子どもに一生懸命話す訓練をさせるのです。決して「おしゃべり」「生意気ね」などと封じ込めないことです。

最後に「とても楽しかった」とか「それはいいことだね」と感想や「お母さんは、こうしたらいいと思うわ」と意見を聞かせることが大切です。

子どもも大きくなるにつれ、友達も増え、行動半径も広がります。豊富ななり、いろいろ話そうと欲張ります。そこを忍耐強く聞いてやることによって子どもの心や世界が見えて来ます。この会話の楽しさを知った子は、青年期がやってきても親子の会話は続きます。

親子の会話を続けるには、小さい時からの親の態度が重要なのです。

子どもの悩みとは

教育相談室へ

(八朔屋台展示庫前)

月・金 午前9時

午後4時30分

☎(43)1323